

多職種連携による口腔機能管理に関する課題の抽出

1. 訪問歯科診療・訪問口腔ケアに関するアンケート結果より

- 1) 昨年1年間に訪問歯科診療の依頼があった歯科医師は、ほぼ(95%)訪問した。
- 2) 昨年1年間に訪問歯科診療を実施していない歯科医師は、今後、依頼があっても65%は行かない。
- 3) 訪問歯科診療から訪問口腔ケアにつながった事例は約半分(49%)。
- 4) 訪問歯科診療・訪問口腔ケアを実施する上での課題は、
 - ①介護報酬の請求がわかりにくい
 - ②歯科医師が時間を確保できない
 - ③必要な機材がない
 - ④歯科衛生士がいない
 - ⑤依頼が来ない の順に多い。

2. ケアプラン作成時における口腔・栄養の関連サービスに関する調査結果より

- 1) ケアマネジャーの方(施設、えがおの窓口共に)は、口腔ケア・栄養ケアが必要な患者像について理解されている。
- 2) ケアプランに入らなかった事例の要因は
 - ・施設では、①ほかに優先する課題がある、②栄養食、きざみ食、とろみ食で対処、③医師、歯科医師からの指示がない、④費用負担、⑤歯科が介入する効果が分かってもらえず、利用者・家族は必要としていない の順に多い。
 - ・えがおの窓口では、①歯科が介入する効果が分かってもらえず、利用者・家族は必要としていない、②ほかに優先する課題がある、③医師、歯科医師からの指示がない、④費用負担、⑤栄養食、きざみ食、とろみ食で対処 の順に多い。
- 3) ケアプランに入れるための重要な項目は
 - ・施設
 - ①利用者の必要度の把握(適切なアセスメントツール)
 - ②利用者・家族の理解
 - ③利用者・家族へのサービス内容・効果・費用の説明ツール の順に多く、
 - ・えがおの窓口
 - ①利用者・家族の理解、
 - ②利用者・家族へのサービス内容・効果・費用の説明ツール
 - ③利用者の必要度の把握(適切なアセスメントツール) の順であった。
- 4) 自由記載では
 - ・ケアマネジャーの立場として、口腔ケアの重要性を理解し口腔ケアを勧めるも、利用者や家族の理解が得られず導入できないケースも多くあることがわかった。
 - ・認知症や開口拒否などケースの協力が得られないという意見が多かった。特に認知症の方への関わりの難しさが浮き彫りになった。
 - ・施設では、歯科衛生士による口腔ケアを受けている事例があり、その場合は歯科診療にスムーズにつながっている。